

サテライト 蜻蛉通所リハだより

10月号

「合意形成」の重要性



厚労省の検討会で報告された内容に、通所リハ利用者の約5割の利用者が、「今後の見通し」について専門職からの説明を受けていないと回答しています。

利用者の利用目的の多くが機能訓練とされており、IADLや役割・地域参加に向けた目標への合意形成にいたる利用者は少ない印象にある中…

「機能訓練 = リハビリテーション」ではなく「リハビリテーション = あなたの人生をより良くする」という認識の共有が重要と考えています。鴻池荘・蜻蛉ではオリジナルのパンフレットを用いて説明する取り組みを開始し、今回は実際に説明を行った結果として、利用者の反応や目標の内容に変化のあった利用者について報告させていただきます。

一人暮らしのAさん。腰椎圧迫骨折後に自宅へ退院

Aさんは、「コルセットを使用しない生活ができれば…」「畑作業を再開したい…」、ご家族からは「外出サービスを使って無理なく生活をして欲しい…」という漠然とした今後の生活イメージを伺いました。

「リハビリテーション」について説明

パンフレットを用いて、「今後望んでいる生活をAさん・ご家族からお伺いすることが重要」であることを説明しました。説明後、Aさんは現在実施している和裁を継続すること、「やっぱり畑や庭で花作りを再開したい」という強い気持ちをお伺い、ご家族は、Aさんのこれまでの人生と一緒に振り返りながら、「本人がそこまで言うのなら、骨折の経過に応じて考えたい」とAさんらしい生活の希望の後押しとなるお話を伺えました。



Aさんへのリハ介入ポイント

居宅訪問・通所リハでの評価結果から、

- ①体力全般を維持・向上すること ⇒ 通所リハと自宅でのトレーニング
 - ②畑・庭作業で行う動作を評価、骨折の経過に合わせて再開 ⇒ 居宅訪問での指導
- 実践的・集中的に介入を行うことが、今後の生活のご希望に添える可能性が高いことを提案しました。生活行為向上リハビリテーションとして、今後Aさんがご希望された、通所リハに加えて居宅訪問にて集中的にリハビリテーションを実施していきます。

夏まつりでの演奏会♪

クラブ活動の合唱に参加されているメンバーが、「発表会がしたい」と希望され、2か月前からクラブ活動以外の時間や自宅でも自主的に練習されていました。

クラブ活動では発表に向けた「役割」を利用者通して話し合い、本番を迎えました

曲の紹介 衣装の飾り 振り付け



演奏会後には

自分ひとりの力だけでなく
みんな仲良く協力し合えた事
が大成功につながった！

(病気や障害があっても)
参加しようと思えた気持ち
がすばらしい！！

～作品展覧会～



展示会に向けて、クラブ活動や自宅でくす玉を作成し、入所と通所リハの作品を皆で力を合わせて展示しました。当日は利用者自身の言葉で作品の紹介をしてくださりました。



観客に喜んでもらえてうれしいです。
プレゼントしたり、考えて作ることが楽しいです

ご連絡おまちしております！



介護老人保健施設鴻池荘
受付時間 9:00～17:00

TEL 0745(64)2180
FAX 0745(62)1092
担当者：相談員